

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和 8 年度病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第 3 号（早期水稻の斑点米カメムシ類）を發表します。  
なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。



## 病害虫発生予察 注意報第 3 号

- 1 農作物名** 早期水稻
- 2 病害虫名** 斑点米カメムシ類（クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ等）
- 3 対象地域** 早期水稻地帯（県本土）
- 4 発生時期** 出穂期以降
- 5 発生量** 多
- 6 注意報発令の根拠**
  - （1）早期水稻周辺のイネ科雑草地の 6 月上旬調査において、斑点米カメムシ類の捕獲箇所率は、83.3%（平年：68.1%）と高く、平均捕獲虫数は 13.0 頭（平年：7.5 頭）で平年より多かった（表 1）。
  - （2）種別構成比はアカスジカスミカメが 52.4%と最も高く、次いでクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、シラホシカメムシの順であった（表 2）。
  - （3）クモヘリカメムシの平均捕獲虫数は 5.8 頭（平年：3.2 頭）であり、過去 5 か年で 2 番目に多かった（表 3）。
  - （4）斑点米カメムシ類の程度別発生箇所割合は、中程度以上が 37.5%（平年：13.7%）であり、過去 5 か年で最も高かった（表 1、図 1）。
- 7 防除上注意すべき事項**
  - （1）斑点米カメムシ類による斑点米の混入は米の検査等級格下げにつながり、特に早期水稻では品質低下の主な要因となる。
  - （2）水田周辺の雑草地などが飛来源となるので、出穂の 10 日前頃までに畦畔の草払いなどのほ場管理に努め、発生密度の低下を図る。
  - （3）毎年斑点米被害が多い地域では、穂揃期と穂揃期の 7～10 日後（乳熟後期）の 2 回防除を徹底する。特に乳熟後期の幼虫の発生には十分注意する。
  - （4）防除は農薬の使用基準を遵守し、農薬がほ場外に飛散しないようにする。

## 8 参考データ

表1 早期水稲周辺のイネ科雑草地における斑点米カメムシ類の地域別発生状況

(令和8年6月4～5日)

地域	調査箇所数	捕獲箇所率 <sup>注1)</sup> (%)	平均捕獲虫数	程度別発生箇所割合 <sup>注3)</sup> (%)					中以上の発生割合
				甚	多	中	少	無	
南薩	24	79.2	12.2	8.3	0.0	12.5	58.3	20.8	20.8
大隅	24	87.5	13.8	0.0	8.3	45.8	33.3	12.5	54.2
県全体	48	83.3	13.0	4.2	4.2	29.2	45.8	16.7	37.5
県全体 <sup>注2)</sup> 平均		68.1	7.5	0.5	2.2	11.1	55.4	30.9	13.7

注1) 捕獲箇所率(%) = 捕獲箇所数 / 調査箇所数 × 100、注2) 平均は過去5か年(令和3年～7年)の平均値

注3) すくい取り調査(捕虫網20回振り)の捕獲虫数を基準とし、甚:61頭以上、多:60～31頭、中:30～11頭、少:10～1頭、

表2 早期水稲周辺のイネ科雑草地における斑点米カメムシ類の地域別種類別捕獲状況

(令和8年6月4～5日)

地域	調査箇所数	項目	クモハリ	ホソハリ	ミナミアオ	シラホシ	イネ	アカシジ	合計
			カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	
南薩	24	平均捕獲虫数 <sup>注1)</sup>	8.1	2.0	0.2	0.4	0.0	1.6	12.2
		捕獲箇所率 <sup>注2)</sup> (%)	45.8	54.2	8.3	0.0	0.0	50.0	79.2
大隅	24	平均捕獲虫数	3.5	1.7	0.5	0.3	0.0	7.8	13.8
		捕獲箇所率 <sup>注2)</sup> (%)	45.8	50.0	12.5	20.8	0.0	79.2	87.5
県全体	48	平均捕獲虫数	5.8	1.8	0.3	0.4	0.0	4.7	13.0
		捕獲箇所率 <sup>注2)</sup> (%)	45.8	52.1	10.4	20.2	0.0	64.6	83.3
県全体 <sup>注4)</sup> 平均		平均捕獲虫数	3.2	0.8	0.1	0.1	0.0	3.3	7.5

注1) 平均捕獲虫数 = 総捕獲虫数 / 調査箇所数、注2) 捕獲箇所率(%) = 捕獲箇所数 / 調査箇所数 × 100

注3) 種別構成比(%) = 捕獲虫数 / 総捕獲虫数 × 100、注4) 平均は過去5か年(令和3年～7年)の平均値

表3 早期水稲周辺のイネ科雑草地(6月上旬)におけるクモヘリカメムシ平均捕獲虫数の年次推移

本年(R8)	平年	R3	R4	R5	R6	R7
2026年	5か年平均	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
5.8	3.2	0.8	1.8	0.5	9.8	2.9

注) 平均捕獲虫数 = 総捕獲虫数 / 調査箇所数

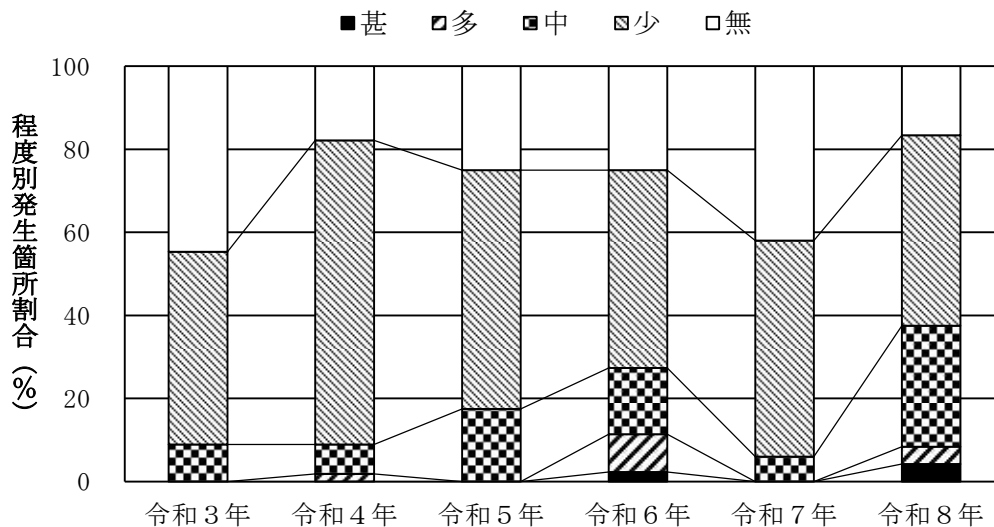


図1 早期水稲の周辺イネ科雑草地等における斑点米カメムシ類の年次別程度別発生箇所割合(県全体)